



北見西ロータリークラブ会報

2024～2025年度クラブテーマ

《明るく・楽しく・元気よく

《広げよう親睦の輪！深めよう絆！育もう奉仕の精神！》

こころ



■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
 TEL 23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分
 ■事務局 TEL 25-2824

■会長 西村 清一 ■会長エレクト 松井 順仁
 ■副会長 山本 英敏 ■幹事 迫田 圭太

第2500地区ガバナーテーマ

「ロータリーに参画しましょう！ 誰かのために、あなたのために、自分のために」

本日のプログラム

第2514回例会

2025年1月23日(木)

ホテル黒部

役員・理事半期報告

会長・幹事

第2513回 例会記録

2025/1/16


会長挨拶

西村会長



皆さん、大変お疲れ様でございます。今日もたくさんの方の会員の方にご参加をいただきまして有難うございます。先週の例会では感極まりまして、取り乱してしまいました。言いたい事がたくさんあったのですが、途中で頓挫し申し訳なく思っております。その姿を見て評価をいただいたというか、いじられていることがありまして、「西村会長にも涙があるのですね」とか「人間味があるのですね」とか「感情があったのですね」とか、他クラブの方からは「西村さん例会で泣かれたのですね。ぜひ見たかったです」と、そのようなお言葉をいただいて、私はサイボーグでもアンドロイドでもありませんので、きちんと感情はもっていることをご認識いただければと思います。

さて、私の年度も折り返しになります。残すところ半年となりました。会長方針に掲げた最重点項目については、順調に結果を出していただいているところでございます。本年度、肝いりの会員増強委員会と出席委員会。出席率88%目標に対し86.3%まで数字が伸びてきておりますのでメイクアップなどの数字を加えていくと年間の目標88%にもっていけるかなと思っておりますので、二つの委員会におきましてはしっかりと数字を積み上げてもらうようお願いを申し上げます。また、本年度の最大のイベントでもありますIMを4月に控え、これからIM一色と言っても過言ではないくらいの時期となってきました。兎にも角にも全員で一枚岩となり4月5日を迎え、そして達成感、充実感を全会員で共有するよう何卒ご協力のほど宜しくお願いいたします。

天気  (例会時) 最高気温 -3℃

昼食

通し いか塩辛 小鉢 お浸し
 焼き物 鱈かま塩焼き 大根おろし
 茶碗蒸し 餅入り
 ご飯 香の物 味噌汁 フルーツ

■ビジター

黒部親睦活動委員

環境大善株式会社

代表取締役 窪之内 誠 氏

マーケティング室長 竹井 涼 氏

■ニコニコボックス 佐藤(卓)親睦活動委員

佐々木会員

今年もよろしくお願いします。

菊地会員

誕生日ありがとうございます。

宮本会員

今年も宜しくお願いします。

伊澤会員

お誕生日お祝いありがとうございます。渡辺和勇会員と誕生日が同じです。毎年心の中でお祝いを言いたいと思います。

川島会員

結婚祝ありがとうございます。

小泉(勝)会員

本年もよろしく。

田辺会員

お誕生日祝ありがとうございます。

本日のプログラムですが、今や「きえーる」といえば全国区に留まらず、世界各国にも輸出し環境改善に貢献している企業、環境大善様の窪之内社長にお越しをいただきご講話をいただくことになっております。お父様が会員でいらっしゃると思いますので、ご本人が緊張するののかと思いきや、お父様の方が緊張されているようでございます。父親参観日のような気持ちだと仰っておいりましたので、エールを送っていただければと思います。

短い時間ではありますが、楽しく実のある例会でありますことを念じ例会冒頭の会長挨拶とさせていただきます。



■ 1月の誕生祝 神野親睦活動委員

菊池会員、松浦会員、田辺会員、
鈴木会員、小嶋会員、伊東会員、
目黒会員、伊澤会員



■ 1月の結婚祝 神野親睦活動委員

川島会員、岡花会員、岡村会員

幹事報告

迫田幹事

- 1) 本日18時よりクラブ協議会を開催いたしますので出席義務者の各委員長様はご出席をお願いいたします。
- 2) 本日例会終了後、理事会を開催いたしますので役員理事の皆様のご出席をお願いいたします。
- 3) 渡辺和勇会員が令和6年12月28日にご逝去されまして、慶弔規程に従い香典等を支出しましたことをご報告いたします。心よりお悔み申し上げます。11日の告別式で松井会長エレクト、山本副会長、近江副幹事にお手伝いいただき有難うございました。
- 4) 北見市内4RC合同麻雀大会を当クラブがホストなり開催いたします。4RC会員同士の親睦を深めるため、多くの皆様のご参加をお待ちしております。令和7年2月20日(木)18時からとなっております。案内文は来週レターボックスに配布いたします。
- 5) 先週、レターボックスに新入会員の皆様の名簿を配布しております。

プログラム

ゲスト卓話「北見から地球の健康をみつめる」

環境大善株式会社 代表取締役 窪之内 誠 氏



三浦職業奉仕委員長
より挨拶の後、環境
大善株式会社 代表
取締役 窪之内 誠
氏に卓話をしていた
だきました。

消臭液や、土壌改良材、植物の保護液などを
製造販売しています。



自己紹介・自社紹介



代表取締役社長
窪之内 誠 Makoto Kubonouchi

環境大善株式会社の代表としております窪之内誠と申します。
【牛の糞】を原料として、消臭液や土壌改良材を製造・販売しております。
もともと馴染みのある事も多かった水耕栽培のバイオマスを利用した、
【アツゾアワード】で成り立つ製造サイクルを確立いたしました。
2019年に創業時から事業転換を受けました。

北海道北見市出身。1976年生まれ。大学の業より18年間CT機器販売、販売責任者を経て、2016年入社。
代表取締役を務めて、2019年より現職。
北海道で現場が課題となっている牛の糞を微生物で分解し、得られる液体を消臭液や土壌改良材として利用する
「アツゾバイオ」(環境大善システム)を開発。
PR及び広報をメインに担当。土、水、空気研究所所長を兼任。

2018年からアートディレクター藤田剛也氏 (KD主宰) とリブランディングに着手。
2021年9月に商品パッケージのリニューアルを実施。

そのパッケージがニューヨークADC賞(The ADC 101st Annual Awards)を受賞した他、「ブランディング・CV/V」部門で
2022年最優秀デザイン賞を受賞。
また受賞歴として、「第15回アスカー賞(農山漁村(むら)の宝)にて、特別賞(ナイスネーミング賞)」、「Forbes
JAPAN SMALL GIANTS AWARD 2022-2023」部門賞(ローカルヒーロー賞)を受賞。
2024年4月「アツゾアワード」にて経営革新大賞を受賞。
2014年10月「アツゾアワード2014」にて、イノベーション部門 グランプリを受賞

商品の作り方が少しかわっています

適切な処理をしないと
水質汚染や土壌汚染につながる
「牛のおしっこ」を原料としています

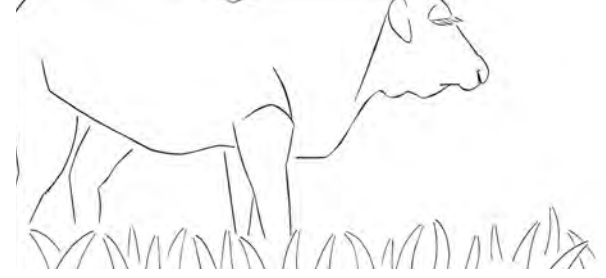
.....

環境大善の製品が出来た経緯

1990年代、北見市を流れる常呂川に牛のおしっこが流れ込み汚染が広がってありました。常呂川は農業用水として利用される他、サケ・マスが遡上し、その河口は日本有数のホタテの水揚げ場にもなっております。このため、国、北海道、農協や酪農家が協力し糞尿処理が進められていました。



しかし、その処理施設は酪農家自身も費用負担を伴うものでした。酪農経営を圧迫しないように処理液を何かで販売できないだろうか？と、環境大善創業者の従兄弟（酪農家）が相談に来たことが消臭液「きえ〜る」の誕生のきっかけとなりました。



公害のもとが公害を制す
「きえ〜る」の誕生

消臭液「きえ〜る」の誕生背景
重要なポイントは2つです

①牛のおしっこは適切な処理をしないと水質汚染や土壌汚染につながります。

②処理をする費用は誰も出してくれません。今までかからなかったお金が急に必要になってしまいます。



河川に影響が出ないようにする技術はあるけど、お金をかけて処理するだけだと②の問題が解決できない、、、。

消臭液「きえ〜る」の誕生背景
重要なポイントは2つです

①牛のおしっこは適切な処理をしないと水質汚染や土壌汚染につながります。

▶ 発酵の技術を使い有害な液を、消臭液や土壌改良材に作り替える技術を生み出す事で解決しました。

②処理をする費用は誰も出してくれません。今までかからなかったお金が急に必要になってしまいます。

▶ 酪農家から牛の尿や処理液を購入する事で解決しました。



この仕組みはサーキュラーエコノミーと呼ばれております

サーキュラー・エコノミー（循環型経済）とは、「破棄」されていたものを「資源」と捉えて、廃棄物を出すことなく資源を循環させる経済の仕組みです。

そしてリサイクル（再利用）とは異なり、新たな価値をつけたものを創り出すのでアップサイクルと呼んでおります。

.....



「きえ〜る」が誕生したあとから私たちは技術に磨きをかけ、循環の輪を広げていきました

研究所を設立し、独自の発酵技術に磨きをかけ、誰も真似できない唯一無二の製品を作れるようになりました。

色々な仲間を増やし、地域の会社や大学も巻き込んで循環の輪を広げていきました。

現在では牛のおしっこだけでなく、堆肥汁（糞尿がまざったもの）からも製造する技術を確立しております。

.....

環境大善が行なっている
北見工業大学との共同研究について

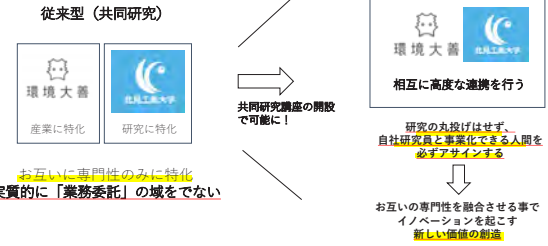
産学提携とは、大学や研究機関等が持つ研究成果、技術やノウハウを民間企業が活用し、実用化や産業化へと結びつける仕組みの事をいいます。環境大善も、地元の北見工業大学と共同研究をおこなっております。

環境大善はより「効果の高い」提携方法を模索し、「共同研究講座」の開設をおこないました。



環境大善が行っている産学提携の革新モデル

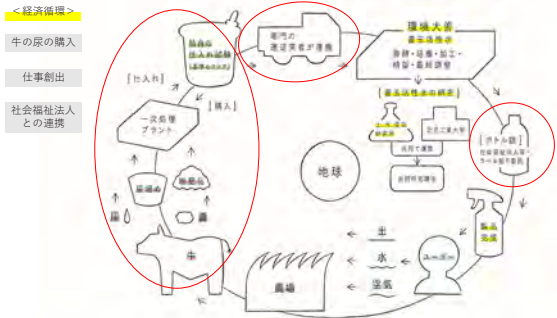
共同研究講座の開設



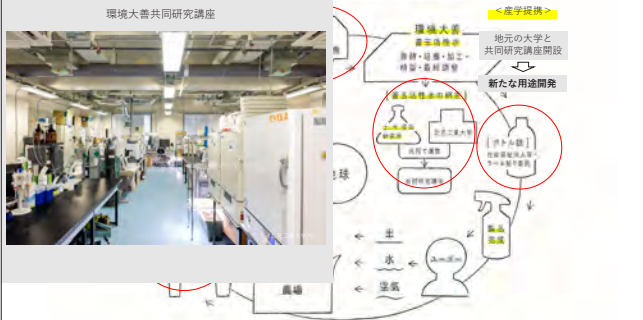
研究はかならず**社会実装**する
 そうする事で、社会に役立つ

研究成果を背景に、環境大善独自の
 「アップサイクル型循環システム」を完成

環境大善独自のアップサイクル型循環システム



環境大善独自のアップサイクル型循環システム



環境大善独自のアップサイクル型循環システム

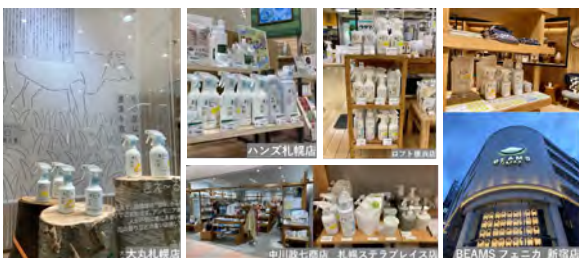


商品の展開事例

ホームセンター・ドラッグストア等での納入事例



百貨店・雑貨店・バラエティショップでの納入事例



芝生・農業関連での展開事例



海外での展開事例（土壌改良材・消臭液）



私たち環境大善は
持続可能な地域社会を目指しています
私たちが住むオホーツクエリアは、原料の宝庫です



この原料をうまく活用し、新しい産業を確立することで、オホーツクから世界に向けて「循環の輪」を広げていきたいと考えています

そのために、
日々、地球の健康を見つめ、
独自技術の探究を続けていきます

環境大善では
アップサイクル型循環システムの他にも
未来に向けた研究開発を行っています

研究開発（未来へ向けて）

微細藻類成長促進剤の開発
SAF（持続可能な航空燃料）の製造コストを下げる為の技術として期待



※緑色が濃いほどユーグレナが増殖している

SAFは日本が産油国になるチャンス！

ニューストピック

2022年11月 Forbes JAPANスモールジャイアンツアワードに選出



日本の中小企業の7社に選ばれ、都内でプレゼンテーションを行いました。

2023年2月発行 Forbes JAPANスモールジャイアンツアワード特集号で紹介されました。



2024年4月 知財功労賞 「経済産業大臣表彰（デザイン経営企業）」を受賞



経済産業省・特許庁が主催する
令和6年度 知財功労賞 において、
経済産業大臣表彰を受賞いたしました。

2018年よりアートディレクターとの両社で徹底して
取り組むデザイン経営を評価いただきました
具体的には海外展開を見越してアジアを中心に商標の
取得を進めている点も評価のポイントとなりました

2024年11月 アトツギアワード2024 グランプリを受賞いたしました



一般社団法人ベンチャー型事業承継による
「アトツギアワード2024」グランプリは、環境大善とケ
ルンの経営者

アトツギアワードは、企業永続のために革新的な事業
や社会善の創出に積極的に取り組むアトツギ経営者を
称え、ロールモデルとして紹介する表彰制度。2023年
に続き、今年が第2回目となります。

■ 例会予告	1 月 30 日	会員増強の進捗状況について	会員増強委員会
	2 月 6 日	平和構築と紛争予防月間に因んで	国際奉仕委員会

出席報告 石田出席委員長

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メ ックアップ (E)	事後メ ックアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	1 月 16 日	63 (休会者 3名)	11	51	10	0		82.3%

※但し、休会者 3 名を含む総数は66名です。